世間本 HE NIPON HE NI

しまねと海と神話の





サザエやトビウオなど 海の幸がいっぱい入ったお弁当



自分の言葉で記事をまとめます

食べられるように、 食でも感じました。 幸がいっぱい入っていました。島根の海の恵を トビウオのすり身を使ったアゴメンチなど海の も登場する貝ご飯= 合間に食べたお弁当には、 豊かな海を守っていこうと おいしい海の幸を未来でも サザエご飯二や島根県の魚 しさがいっぱい

日本書紀に

まねの海は

砂で埋まっていた「クジラ島」を見学



稲佐の浜でスコップを使って体験しました

んでしたが、 たが、 る岩礁です。 わったことを示すのが、 の形が変わってしまいました。 大きな岩は、 の稲佐の浜は、 譲り神話の舞台となった稲佐の浜です。 環境の変化に伴い砂浜の中に埋まってし こんなに大きな変化が短い 実際に岩礁を掘り出すのはたい もともと海面に顔を出 その名の通り、 波消しブロックなどの人工物が ほんの数 「クジラ島」と呼ばれ クジラの形 海岸の様子が変 年の間に海岸線 していま. 時間 をし

私 たちの生活が 変えてしまう海の環境

参加した子どもたちの感想

にんげんにはいいけど魚とか海の生きものにはダメ なことが分かった。(高浜小学校1年 岡遼成くん)

思いまし

- 人の手によってしおの流れが変わってすながつもっ てしまってさかなの住むところがなくなるし、ゴミ をすてることで、魚たちが生きづらくなっている。 ゴミはきまった場所にすてて、生き物の命を大切に する。(さくら小学校3年 原彬人くん)
- すながふえて今のいずもの海と昔のいずもの海とで かわってしまった。海にゴミがあったらとって、き れいな海にする。(内中原小学校2年 松本大誠くん)
- すなはまが大きくなってうみのいきものがこまって いることがわかった。ごみをポイすてしない。ごみ ひろいをする。かていでも水をむだにしないことで うみをきれいにしたい。(今市小学校1年 持田潤くん)

起きたことに驚きました。

せまかった国土を神が土地を引いて海岸が広がった ことを神話から学んだ。人の手で加えられたものに よって、生き物が住める環境が少なくなっているこ とが分かった。ごみ拾いをしたり海に関する活動に 積極的に参加して海に関する知識を増やしていきた い。(今市小学校5年 持田瑞樹くん)





しまねの海について取材を行った証しに 「海を守るリーダー」の認定証をプレゼント



イベント後には皆で認定証を持って記念撮影



お兄ちゃんと一緒にイベントに参加してくれた 岡ななみちゃんの書いた「うみのえ」

